小学校第３学年　道徳学習指導案

平成２９年　５月３０日（火）第５校時

児童数　３５名

授業者　四万十市立中村南小学校　　上田　浩稔

１　主題名

相手を思いやって親切に　【親切、思いやり】中Ｂ－（６）

２　ねらいと教材

（１）ねらい

親切とはどういうことかを考えることを通して、相手の状況や気持ちを自分のこととして想像し、相手のことを親身になって考えようとする態度を育てる。

（２）教材名

心と心のあく手〈わたしたちの道徳　小学校３・４年　文部科学省　Ｐ６６～６９〉

３　主題設定の理由

（１）ねらいや指導内容についての教師の捉え方

中心とする指導内容は、Ｂ「主として人との関わりに関すること」の（６）「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」である。思いやりとは相手の立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。

社会生活をするうえで、思いやりの心を持ち、親切にするということは、望ましい人間関係を築く基礎になる。相手の立場や気持ちを十分に理解し、人格を尊重しながら困っている人を援助できることが真の思いやりであり、親切である。本当の意味での思いやり・親切について考えることを通して、自分だけがよいことをしたという自己満足で終わるのではなく、相手の気持ちを自分のこととして想像し、推し量りながら、相手のことを親身になって考えようとする態度を育てたい。

（２）児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い（児童・生徒観）

～中略～

（３）使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、学校の帰り道、重そうな荷物を持ったおばあさんを助けようと声をかけるが断られた主人公が、あとでおばあさんはリハビリ中だったと知る。数日後、再度おばあさんを見かけたとき、声をかけようか迷う主人公が、どうすることがおばあさんのためか考え、黙って見守り続けたという話である。主人公のとった行動を通して、思いやりとは何か、本当の親切とは何かを考えながら、ねらいとする価値にせまっていける教材である。

本時の指導では、初めの場面で声をかけた行為が自分たちの考えていた親切と同じであることをおさえ、数日後おばあさんに出会った時に自分たちはどうするかを考え自分事として考えさせ

る。そして、主人公がおばあさんにとった行動から主人公が考えた本当の親切とは何だったか考えることにより、何かを貸してあげたり手伝ったりするなど、表面に現れる親切だけでなく、黙って温かく見守るといった目に見えない思いやりもあることを理解させたい。

今年度の本校の研究主題は『自己の生き方をみつめる児童の育成～道徳科の研究を通して～』である。自分の今までの生活を振り返ることによって、自己の生き方をみつめ、研究主題へとつながっていくものと考える。

4　学習指導過程

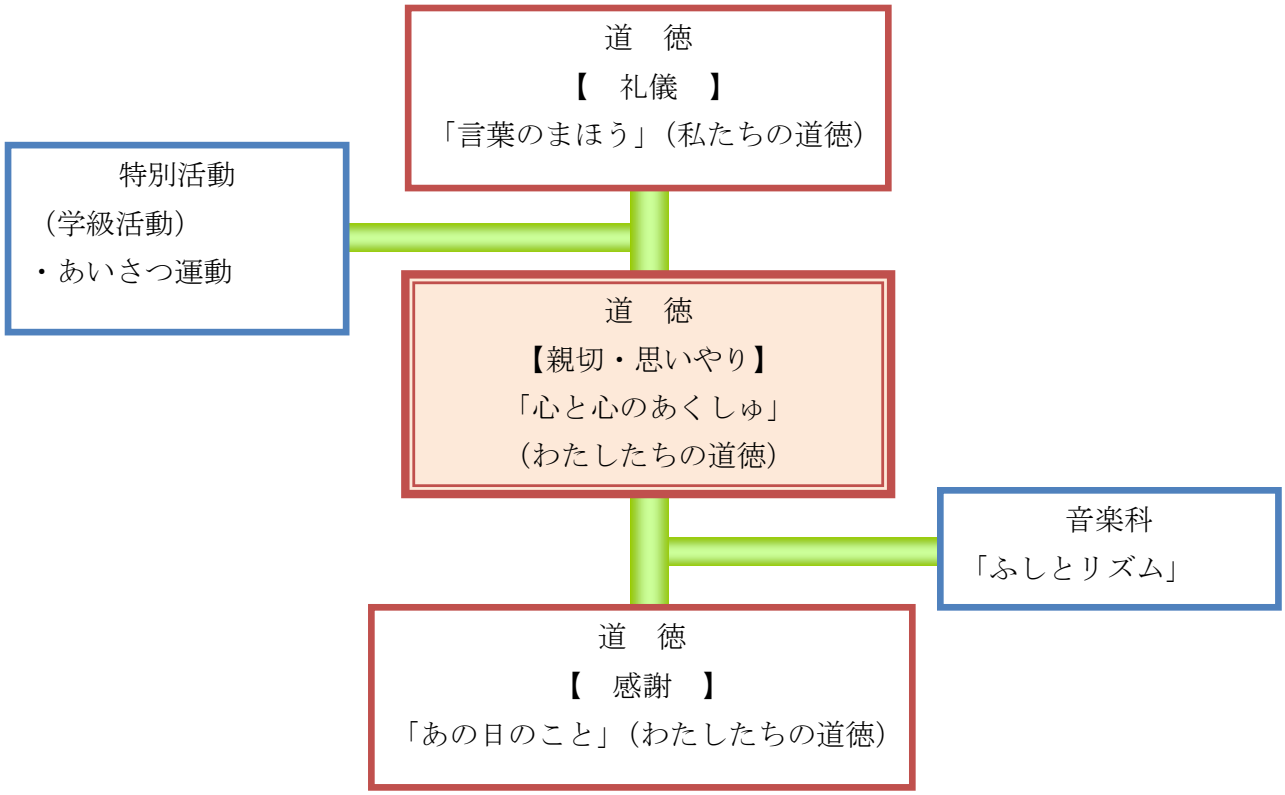
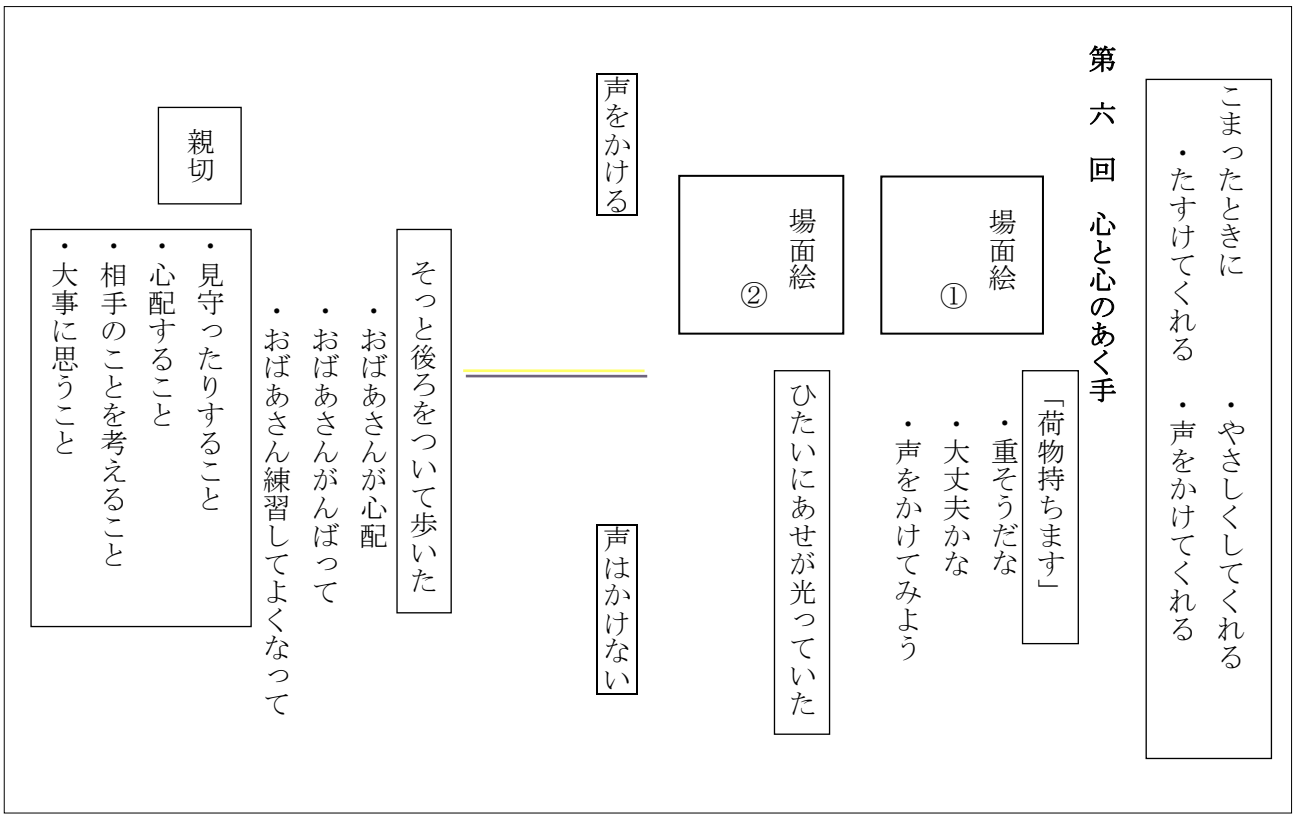
	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の反応	指導上の留意点
導入	1.親切な人とはどんな人だと思うか、アンケート結果を提示し確認する。	困ったときに ・助けてくれる人。 ・声をかけてくれる人。 ・優しくしてくれる人。	・親切な人とはどんな人なのか、話し合いねらいとする価値への方向づけを図る。
展開	2.資料「心と心のあく手」を読んで話し合う。《前半》 (1)声をかけたぼくの思いを考える。	○どうしてはやとくんは「荷物持ちます」と声をかけたのでしょう。 ・重そうだな。　・手伝ってあげたいな。 ・大丈夫かな。　・心配だな。	・親切心からおばあさんに声をかけたぼくの気持ちを捉えさせる。
	(2)数日後、再びおばあさんに出会った時、自分ならどうするかを考える。	○この後自分だったらどうしますか。 ・もう一度声をかける。 ・声をかけることはしない。	・どうしてそうするか理由をつけて言わせ、自分ごととして考えさせる。
	《後半部分を読む》		
	(3)ぼくの行動から思いを考える。	○どうしてはやとくんは「そっとおばあさんの後ろをついて歩いた」のでしょう。	補助発問 「どんなことを考えながらそっと後ろをついて歩いたと思いますか。」
	(4)親切とは何か考える。	◎ 今日の学習を通して、親切についてもう一度考えてみましょう。 ・ついていって見守ったりすること ・相手のことを心配すること ・相手の気持ちを考えること ・相手のためになることをすること	・ワークシートに親切について考えたことを書かせる。
	3.振り返りをする。	○今日の学習をして考えたこと、振り返り、これからどうしていきたいかについて道徳ノートに書きましょう。	・何人かに振り返ったことを発表させ親切について考えを深める。
終末	4．映像を見る。	・今日の勉強を振り返りながら映像を見ましょう。	・映像を見せ余韻を残して終わる。

5　評価（評価方法）

※相手の気持ちを思いやった親切な行為について考え、自ら進んで行おうとしている。（発言・道徳ノート）

○準備物　　ワークシート・わたしたちの道徳・映像（テレビ・ＣＤ）

6　他の教育活動との関連



7　板書計画